

車検対応型ナンバーステーの開発

日本ボデーパーツ工業(株)

日本ボデーパーツ工業(株)は、1946年創業の小林商店を前身とし、架装用部品やトラック用品を中心に取り扱っている。誰もが一度は目にしたことがある、トラック用テールランプ「JB角型ランプ」に代表されるJBブランドで知られる商社である。日本各地の支店に豊富な部品在庫を持ち、迅速なサービスと対応力でお客様に喜んで頂けるよう行動している。

同社では多くの営業マンが、ユーザーである架装メーカーの製品の使い勝手や要望などの「現場の生の情報」に常に耳を傾けている。こうしたユーザーニーズを、取引先である大小の様々な部品メーカーにフィードバックし、オリジナリティの高い製品開発に活かしている。

多くのメーカーとともに、互いに情報と技術を持ち寄り、二人三脚で製品を作りあげ、販売してきた同社はモノを作る技術・設備は持っていないが、各取引先の会社とともに共有している情報から新しい商品を生み出していく企業である。



JBブランドで知られるLED角型テールランプ

■ 車検対応製品を設計から

ナンバープレートの取り付け方に関する規制で、純正のナンバーステーでは、ナンバープレートを照らす白色灯を取り付けるスペースが確保できないなどのケースが生じた。これに対応するため、上からではなく横から照らすステーが必要であったが、付け替えただけでは、車検に通ることができなかった。配光や入射角度の測定と、試験を行い、車両保安基準に適合した商品であるという「試験成績書」を取得する必要があったのである。



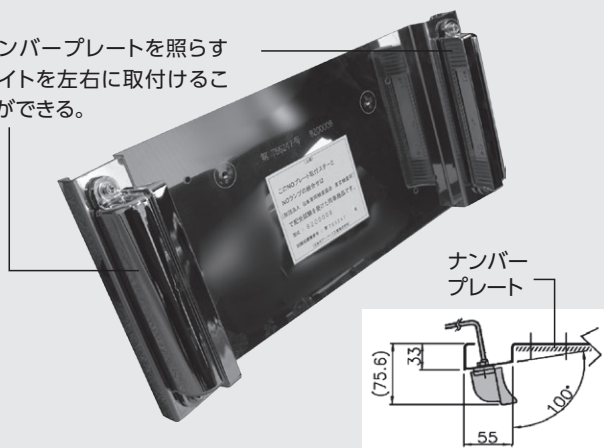
丸山 重孝

東京支社 営業技術室 部長

ナンバープレートステーの開発の中心となって、製品化に大きく貢献。最近では品質管理のために海外の工場へも出向いている。

設計専門の部署を持たない同社では、新しくCADを導入し、営業の社員が操作方法を覚え、急いで図面を作り上げた。当然ながら、そのまま形にすることは困難な図面となってしまう、部品メーカーと共同で修正を進めていくことにした。同時に、設計上の不備や不具合がないかを確認するために、自ら国土交通省や(財)日本車両検査協会へ幾度も出向き、説明を聞いて勉強した。こうした努力によって、市場が求めるナンバー灯ステーは試験成績書を取得することができ、「車検に通る」製品「車検対応型ナンバー灯ステー」として生まれ変わることができた。

ナンバープレートを照らすライトを左右に取り付けることができる。



保安基準に適合している照明的取付位置

■ 規制への積極的な対応

規制の及ぶ範囲が様々な部品に拡大していく中で、従来のように、安全で高品質な部品を販売さえしていれば良いという時代ではなくなっている。同社では環境負荷物質の使用を管理するために、蛍光X線分析装置も導入し、安心と安全な商品を提供している。

様々な検査を積極的に行い、部品メーカーと架装メーカーの双方の信頼を得る努力を続けている。

日本ボデーパーツ工業(株)

代表取締役社長 小林 修二

未来への飛躍のために、持てる力をフルに活かしてさまざまな要求・ご注文に応えるよう努力して参ります。

【本社】 〒553-0003 大阪府福島区福島3丁目3番7号

Tel:06-6458-5151(代)

<http://www.nihonbody.com/>